

はじめに・性教育ってなんだろう? 2
この本の見方 4

女の子ってなに? 男の子ってなに? 6

おんな おとこ 女らしさ、男らしさってなんだろう?

女らしさ、男らしさのイメージ 8

「ジェンダー」ってなんだろう? 10

社会のなかのジェンダーイメージ 12

日本にある不平等 14

かぞく 家族ってどんなもの?

家のなかの役割分担はどうだろう? 16

結婚ってなんだろう? 18

世界に見る結婚の問題 20

どのように生きてゆくかは自分で決める 22

この本の見方

ずかい 図解 見る 図解イラストを使って内容をくわしく解説します。



ことばで 知る ことばとイラストで性にまつわるさまざまな知識を紹介します。



し しゃかいてき せい きんたい 知っておきたい社会的な性の問題

スクールセクハラってなに? 24

学校でおこる性的いじめ 26

性暴力ってどんなこと? 28

多様化する性の情報 30

たっだしい知識で 大切な性を守る 32

スクールセクハラや性的いじめ、性暴力、JKビジネスのトラブルを相談できる場所 34

用語解説 36

さくいん 39

気づく 深める コラム 性についてわかったことを発展させて考えたり、実践してみる提案をしています。

考えてみよう / やってみよう / 気をつけよう /
そのページを読んで、自分の考えをまとめる。 / そのページを読んで、自分でもやってみる。 / そのページにあることを、実際に役立てる。

日本国憲法第24条... そのページに関連した情報を紹介しています。
差別ってなんだろう? 不平等が生まれる背景にはさまざまな要因がありますが、たとえば「女性だから」という理由で教育や仕事の機会をうばったり、男
そのページにあることを、マから少し発展した内容を紹介します。

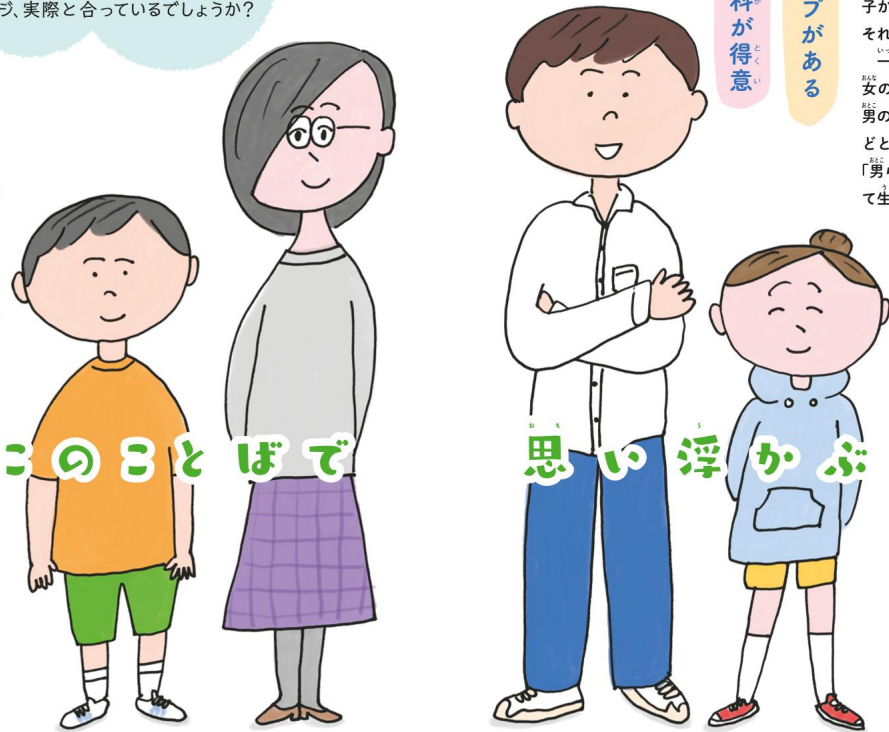
女らしさ、男らしさのイメージ

だれかのことを「女らしい」「男らしい」って感じたことがありますか？
そんな「女の子」「男の子」のイメージ、実際と合っているでしょうか？

性別イメージの思いこみ

「女の子」「男の子」と聞いて、あなたはどんなことを思い浮かべますか？ あなたもあなたのまわりにいる人びとも、「女の子はこういう感じ」「男の子はこういう感じ」というイメージを無意識のうちに持っています。

でも、あなたやあなたのまわりにいる人は、かならずしもそのイメージの性別とぴったり同じではないはずです。



このことばで思い浮かぶのは？

やさしい

おしとやか

わんぱく

料理が得意

乱暴

運動が得意

国語が得意

理科が得意

リーダーシップがある

「らしさ」と「みたい」

「女の子らしくおとなしくして」とか、「男らしく堂どうしなさい」と、まわりからもとめられたことはありませんか？ でも、女らしさ、男らしさってなんでしょか？ このページに並んでいることばはすべて、女の子が男の子かで分けられることばではなく、それぞれの人の個性をあらわすことばです。

一方で「みたい」ということばもあります。女の子が女らしくないことを「男みたい」、男の人が男らしくないことを「女みたい」などと使われたりします。これも、「女らしい」「男らしい」というイメージの決めつけによって生まれたことばです。

力が強い

気が配りができる

ひかえめ

よく発言する

考えてみよう！

あなたは「女（男）らしいね」「男（女）らしくない」と言われたことがあるかな？ そのとき、どう思ったかな？ また、だれかにそう感じたことはあるかな？ そう感じたのはなぜだろう。

女らしさ、男らしさってなんだろう？

「ジェンダー」ってなんだろう？

「ジェンダー」ということばを聞いたことがありますか？
社会によってつくられた「女性像」や「男性像」のことをさしますが、
いったいどんなものなのでしょうか？

つくられたイメージのこと

「女の子は赤」「男の子は青」「女の子はおしとやか」「男の子は泣かない」など、性別について社会的・文化的につくられたイメージや期待される役割、関係性のことを「ジェンダー」とよびます。ジェンダーイメージは、わたしたちが小さなころから、家庭や社会、メディアなどあらゆるものに影響を受けて、自分のなかに無意識のうち
にすりこまれていきます。

男女で色分けはあるかな？



ぼくは青いランドセルだけど、服はピンク色を着ることもあるんだ。

男の子は黒や紺のランドセルが多いよ。

クラブ活動ではどうかな？



女の子は少ないからね。

サッカークラブに入っているよ。

よじ方はちがう？



前は、女の子は●せん、男の子は●くんってよばれていましたけど、今は、男女関係なく、●せんってよばれてるよ。

一人ひとりに合った役割を

たとえば学校のなかでは、どんなジェンダーイメージが見つけられるでしょうか？ あなたの学校では、みんながジェンダーイメージにしばられず、性別に関係なく自分らしく過ごせていますか？

「女らしい」「男らしい」などのイメージは、いつの間にかすりこまれていくものです。しかし、性格や特性、得意なこと、趣味、将来の夢などは、実際には「女」「男」という性別で分けられるものではなく、それぞれが自分らしくあるべきです。

「女なのに……」「男なんだから……」と決めつけてしまうことは、ときには不平等になり、差別につながる危険があります（→14ページ）。

行事などの役割は？



運動会の応援団長に選ばれたんだ。初の女性団長だけどね。

係に男女は関係ある？



花が好きだから、美化係になったよ。

将来の夢はどうだろう？



科学者になりたいんだ！

女性の科学者が増えるのっていいなと思うよ。

かんがえてみよう！
ここであげた例のように、あなたの身近に「これってジェンダーだ」と思うことはあるかな？ ジェンダーイメージにしばられないようにするにはどうしたらよいと思う？

女らしさ、男らしさってなんだろう？

ち し き た い せ つ 正しい知識で大切な 性を守る

性教育は生殖だけ学ぶことではありません。いのち、からだ、健康についての知識を得ることで自分を育み、人との関係をより豊かにできるものです。

性を学ぶことは人権を守ること

性教育で学べるのは、どんなことでしょうか。

たとえば、自分のからだの名前やしくみ、プライベートゾーンについて知ることは、自分自身を守り、ほかの人のからだも大切にすることにつながります。赤ちゃんの誕生についてありのままを学ぶことは、いのちのもとにふれる体験です。思春期におとずれるからだところの変化を知ること、自分の成長に見通しを持ち、これからの成長がより実感できます。さまざまな性のあり方や「性的同意」、ジェンダーについて学ぶことは、家族や友だち、恋人と、おたがいを尊重した豊かな関係を育む一歩になります。

性とはいのちそのものであり、また人間の発達・成長のことであり、人との関係性のことでもあります。ありのままの自分を大切にしつつ、ほかの人も尊重して、あらゆる差別や偏見に気づき立ち向かう……性教育によって身につけられるこのようなスキルは、そのまま人権を守ることにつながります。

まわりの人と距離感とは自分で決めていい。それは相手にとっても同じだね。



相手が何を考えているのか決めつけずに、コミュニケーションをよく取っておたがいを尊重しよう。

自分のからだをよく知って、自分の気持ちも大切にしよう。

正しい性の知識が味方になる

あなたはこれから、どんなふうに毎日をご過ごしたいですか？ やってみたいことや行きたい場所、なりたい自分像やつきたい職業はありますか？ 家族や友だち、ほかの大切なだれかと、これからどんな関係を育みたいですか？

だれしも、自分らしく生きていくためには、正しい性の知識と、それを生かすスキルが欠かせません。だからこそ、子どものころから性について学ぶことそのものも、基本的人権のひとつといえます。

今後、悩んだり行きづまったりしたとき、自分は無力だと感じてしまうとき、科学的で多角的な性の知識（包括的性教育）は、あなたのありのままを肯定し、きつと不安によりそい背中を押してくれます。



知っておきたい社会的・女性の問題

この本に出てくる大切なことばについて解説しています。
掲載ページはさくいんを見てください。

あ

家制度

1890～1947年に施行された「明治憲法（大日本帝国憲法）」のもので「旧民法」に定められた、日本の家族制度。家族は「主」とよばれる一家の主（家父長）の強い統制下におかれた。

か

管理職

企業や官公庁、学校などで、監督や管理の地位と役割のある職種。

結婚

法的あるいは社会的に夫婦と認められること。役所に婚姻届を提出し、法律上の夫婦となること。

個人の尊厳

人間一人ひとりが、価値のある多様で異なる存在としてありのまま尊重され、大切にされること。民主主義の基本原理のひとつで、集団のなかでも個人の多様な生き方に価値が認められること。

婚姻年齢

婚姻関係を結ぶことのできる年齢。民法ではこれまで、男性18歳以上、女性16歳以上とされていたが、2022年4月1日から男女ともに18

く

差別

差をつけてあつかうこと。特に、性別や人種、セクシュアリティ、障がいの有無など、その人の「属性」を理由にして、不当に低くあつかうこと。

JKビジネス

女子高生（JK）を従業員として、会話やゲーム、撮影やマッサージなどで、性をサービスとして売りにする営業形態。

ジェンダー

社会的・文化的につくられた、女性・男性それぞれへの役割分担規範や行動規範、性差のこと。「女（男）らしさ」「男（女）はこうあるべき」などの社会通念としてすりこまれるイメージ。生物学的な性別・性差（セックス）とは区別して使われる。

ジェンダーギャップ指数

世界経済フォーラムという国際機関が毎年発表する、各国の男女格差を示す指標。経済活動、政治への参画度、教育水準、出生率、健康寿命などから算出される。

事実婚

婚姻届を出していないが、お

たがいに結婚という関係に同意し長く生活をともにするなど、夫婦と同等の関係性がある状態のこと。

児童婚

18歳未満での結婚のこと。世界の児童婚の多くは経済的・社会的・構造的要因により、本人の意思を無視して取り決められる強制的な結婚であることから、強制婚ともいわれる。対象となるのは圧倒的に女の子が多い。成長してないからだでの妊娠・出産は健康上のリスクをとまう。また、教育の機会をうばい貧困をまねく、夫からの暴力や虐待を受けやすいなど、さまざまな問題があり、子どもの権利の侵害とされている。

人権

学校や職場など集団生活の場社会にくらす多様な人びとすべてが、いのちの危険なく自由に幸せを追求するための権利。人間だれもが生まれたときから平等に持っている権利。人種・性別・身分などによって差別されないこと、思想・宗教の自由、集会・結社・表現の自由などは、人間として過ごすための土壌となる権利で、基本的人権とされる。

スクールセクハラ

学校などの教育現場におけるセクシュアルハラスメントのこと。おもに教師と児童の間におこることをさすが、教師間や、生徒・児童間のハラスメントもふくまれる。

正規雇用

勤務先との直接契約で期間を限定せず、フルタイムではたらく雇用形態。正社員。

性差別

性別を理由に、不当な制限をしたり、機会をうばったり、排除したりすること。

性産業

性的欲望を満足させるためのサービスを提供する産業。

性的いじめ

学校や職場など集団生活の場で、児童・生徒・学生・労働者が、加害者から露出の強要をふくむ性暴力を受けること。

性的虐待

子どもへの性交や性的な行為の強要、子どもに性器や性交を見せるなどがある。女の子だけではない。男の子も被害にあい、家庭内でもおきている。

性的同意年齢

性行為に同意する能力がある

とみなされる下限の年齢のこと。性交同意年齢ともいわれる。性行為の意味や、のぞまない妊娠や感染症といった性行為でおこるリスクを理解し、性行為をするかしないかを自ら判断できる力がある年齢とされている。先進国をはじめとする世界各国では15～16歳を下限とすることが多く、日本の13歳という規定は低いとされている。

性暴力

同意のない、強要された性的な行為。たとえ恋人どうしや夫婦であっても、本人がそのときのぞまない性的な行為は性暴力に当たる。DV（ドメスティックバイオレンス）においては、避妊に協力しない、中絶を強要するなどの行為がある。また、性的な写真や動画を勝手に撮る、それらを勝手に公開するといった行為もふくまれる。

セクシュアルハラスメント

相手の意思に反した性的な言動で、相手を不快や不安な状態に追いこむこと。被害者の基本的人権や人格権を侵害する行為。性的なイメージを思わせるビジュアルを見せることもこれに当たる。セクハラとも略される。

先進国

経済や工業技術、政治、文化などが国際水準から見て進んでいる国。これに対し、人口ひとり当たりの所得水準が低いなど経済発展の水準が先進国に比べて低く不安定で、経済成長の途上にある国を発展途上国（開発途上国）とよぶ。

選択的夫婦別姓

結婚した夫婦が、「同一の姓を名乗る」「それぞれ別（結婚前）の姓を名乗る」のどちらかを選ぶことができる制度。現在の日本の法律では認められておらず、夫婦で同一の姓を名乗ること（夫婦同姓）が義務づけられている。

た

男女平等

性別による差別がないこと。社会的地位とそれにとまう権利、義務、待遇などに、性別による差がなく平等であること。

同性婚

女性どうし、または男性どうしの結婚。

な

二次被害

いのち、からだ、財産などへの直接被害（一次被害）を受けたことによりおこる被害のこと。被害者をさらに追いつめるような不適切な声かけや、プライバシーの侵害、見せも